

初夏の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
コミュニケーション活動の一環として会員各位の相互理解をより一層深める一方策として、平成26年度から企業訪問を開始し、今回で24回を向かえました。
企業訪問を通じて、会員相互の理解活動に少しでも貢献できればと思います。
今回は6月23日に(株)エイブルさんを訪問しました。皆さんが廃炉に向け作業に取り組まれている状況を報告いたします。



岡井取締役部長からの一言



- ・日頃より「福島原子力企業協議会」「会員」のみなさまに何かとお世話になり感謝申し上げます。
- ・私どもは「地元企業」として福島の復興と廃炉作業に携わる事で地域を良くし、次の世代へふるさとを残すことや廃炉の意義を伝えていかねばならないと意を強くしています。
- ・そのためには、私どもの強みを最大限に生かし、知恵を出し、工夫を重ね、アイデアを出し、そして、みなさまとのネットワークを大事にコラボレーションして参りたいと思います。
- ・引き続きご指導とご示唆を賜れば幸いです。

事業活動



経営方針発表会・懇親会

社員が一堂に会し、経営方針確認。
懇親会でラグビーニュージーランド代表の「ハカ」で士気を高めた。



パートナー企業社長会

定期的に行われ、情報共有を実施。
(46社で構成)

安全活動



交通立哨(2回/月)



構内パトロール
(社長・本部長・部長)



品質管理研修



内部監査

品質向上

コミュニケーション



台風19号被災炊出し (いわき市)



復興支援のため酒造り



全員参加の新年書初め大会



優秀作品がラベル

編集後記

今回の発刊に当たり、岡井取締役部長、鈴内部長、井戸川部長には、ご多忙のところご対応いただき、誠にありがとうございました。
今回の訪問でお話を伺い、非常にコミュニケーションを大切にされている企業さんだということを感じました。また、エイブルさんといえば、この5月に1・2号機の排気筒解体を完了されました。あの成果がコミュニケーションを大切にされる社内全体の取り組みに裏付けされていたのだと実感した次第です。

